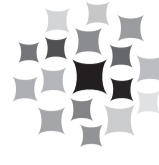


第52回子規顕彰松山市小中高校生俳句大会で6,975句の応募の中から選ばれた、グランプリ4句と特選135句を紹介します。

※□は複数の選者に選ばれた句(掲載作品以外を含む)。()内は学校名・学年(敬称略)



小学校上学年の部(4~6年生)

小学校下学年の部(1~3年生)

私はこの夏休みに、海プール、かき氷のハワイアンブルー味など、たくさん青いものを見たり味わたりしました。そして、あとで日記を書くとき、青色のクレヨンをたくさん使って描きました。しかし、青色の思い出がたくさんあって、青色のクレヨンがまだ足りなかった様子を俳句に表しました。



幸瀧麻莉菜 (宮前小6年)

夏休み青クレヨンのまだ足りぬ まだ足りぬ

グランプリ



田邊有紗季 (番町小1年)

なつやすみ ほじよりんはずし とくいがお

グランプリ

Table containing 135 haiku entries, organized by author and selected by judges. Each entry includes the haiku text and the author's name and school/year.

第52回 子規顕彰松山市小中高校生俳句大会

高等学校の部



大瀬戸結子
(松山西中等教育5年)

一頭の
牛の死に触れ
草朧

グランプリ

又吉栄喜著『夏休みの狩り』に、少年たちが強靱な巨牛の死に直面するシーンがあります。牛の立派な体や毛並みの黒々とした艶めきに「生」はなく、脳裏に浮かぶ光景はただ夜の気配に支配されていました。生命の重さとはかなさに触れ、私を取り巻く春の夜は朧めいていました。グランプリを頂き、驚いています。ありがとうございます。

中学校の部



池内明乃佳
(南第二中3年)

帯しめる
背に母の息
夏祭り

グランプリ

夏祭りに母に浴衣を着せてもらいました。帯を締めるころには、母の言葉数も少なくなり、背中越しに息遣いが聞こえるようになりました。母が一生懸命着付けてくれているのだと感じ、その時のうれしさを句にしました。
このような賞を頂き、大変驚いています。母との良き思い出ができました。ありがとうございます。

松原 由起 選

電車待つ肩にしぼんだ浮き輪かな
村上 順菜(久谷中3年)

祖父逝きて青きトマトの置き土産
井上 紘彰(西中3年)

忘れ物駆ける路地裏かたつむり
岡元 紀衛(勝山中3年)

真黒な数字の羅列薄暑かな
加藤 尚子(松山西中等教育2年)

帯しめる背に母の息夏祭り
池内明乃佳(南第二中3年)

線香の沈みおる床大の字で
佐伯 ユウ(東中2年)

うわぐつの落ちる水滴夏の空
石川 琴子(雄新中3年)

細川 美保 選

陽炎を切るばあちゃんの軽トラック
田中 胡晴(中島中3年)

女子会でおいできぼりのソーダ水
楠本 菜央(城西中2年)

草刈りの祖父の背負いし入道雲
水中 樹(済美平成中等教育2年)

妹がせみの屍木に返し
宮竹 宏徳(余土中1年)

赤とんぼペディキュア落とす十四歳
進藤ひより(久米中2年)

夏祭り母似といわれる初化粧
安西 紗菜(鴨川中2年)

帯しめる背に母の息夏祭り
池内明乃佳(南第二中3年)

尾後 千恵 選

帯しめる背に母の息夏祭り
池内明乃佳(南第二中3年)

葉桜の下で教わる素振りかな
本田 理恋(垣生中1年)

弟も入道雲も背負う我
玉井 杏実(南第二中2年)

原爆忌ひとつひとつの鶴重く
飯尾 久翔(済美平成中等教育2年)

落蝉を避けた前輪帰り道
赤松 千穂(愛大附属中3年)

赤とんぼペディキュア落とす十四歳
進藤ひより(久米中2年)

空つぼの犬小屋にある蝉の殻
村越奏太郎(久米中1年)

武田 香織 選

弟も入道雲も背負う我
玉井 杏実(南第二中2年)

華やかなうちわの裏の無地の白
谷山 優(松山西中等教育2年)

弟のビギナーズラック鯖二匹
本田 丈征(垣生中3年)

コンタクトつけて広がる夏景色
田川 紗(椿中1年)

川遊びスマホ片手に父と祖父
藤原 夏美(南中3年)

七才の右手に残る林檎飴
田中日香里(余土中1年)

バーベキュー網洗う父の背を眺む
セブガン アイラ(日浦中3年)

角田 鉄平 選

電車待つ肩にしぼんだ浮き輪かな
村上 順菜(久谷中3年)

帯しめる背に母の息夏祭り
池内明乃佳(南第二中3年)

真黒な数字の羅列薄暑かな
加藤 尚子(松山西中等教育2年)

ポケットのブルーハワイのしみ濃ゆ
香西 晴仁(旭中2年)

空蝉を轆し車輪の白き跡
宇都宮駿介(雄新中1年)

終戦日車内アナウンスは英語
武田 愛子(道後中1年)

完熟をひそりひそりと待つ林檎
渡邊 光太(鴨川中3年)

高岡 周子 選

炎天下くつ紐キユットと走り出す
江湖山未夢(伊予高2年)

ビー玉をすかし入道雲のぞく
小山 史乃(愛大附属高1年)

ここからは新たな自分打水す
門田 大和(松山商業高2年)

ポスターの仕上げ一気に油蟬
村上 真奈(愛大附属高1年)

福谷 俊子 選

書肆へ行く道を妨ぐ草いきれ
乗松 颯太(伊予高1年)

キャンバスにいざ筆入れる油照
井上 尚貴(愛大附属高2年)

江崎 紀和子 選

ここからは新たな自分打水す
門田 大和(松山商業高2年)

稲妻や湖心に落つるときの白
安永嘉知子(松山東高2年)

恋をして赤くなったよミニトマト
峯下 琴羽(聖カタリナ高1年)

サイフォンの丸みに光春の雷
中井 望賀(愛光高2年)

一頭の牛の死に触れ草朧
大瀬戸結子(松山西中等教育5年)

教会のシャンデリア墮ち初時雨
渡部 優樹(愛光高2年)

サイフォンの丸みに光春の雷
中井 望賀(愛光高2年)

渡邊 孤鷺 選

麦茶回し飲む俺らの喉仏
松本 幸羽(愛大附属高2年)

南風ノートのすみのメッセージ
眞部 巳琴(愛大附属高1年)

炎昼の作文用紙まだ白し
向井 晴香(松山中央高1年)

靴ひもを結んで夏へ勝負かな
重松 真季(聖カタリナ高2年)

森川 大和 選

心大運命なんてこんなもの
横山 幸奈(愛大附属高2年)

稽古後の礼深々と原爆忌
鴨頭 芽依(愛大附属高2年)

木下 節子 選

麦茶回し飲む俺らの喉仏
松本 幸羽(愛大附属高2年)

ビー玉をすかし入道雲のぞく
小山 史乃(愛大附属高1年)

南風ノートのすみのメッセージ
眞部 巳琴(愛大附属高1年)

夏の空無限インチのハイビジョン
近藤 祐矢(松山工業高3年)

一欠片落ちた西瓜に集う蟻
榎野 高嶺(松山城南高2年)

一頭の牛の死に触れ草朧
大瀬戸結子(松山西中等教育5年)

秋彼岸木箱を釘の突き出づる
近藤 匠也(愛光高1年)



表彰式の様子